


2011年3月18日(金) 第17回大学教育研究フォーラム
「特色ある大学英語教育の取り組み」



**専門課程における英語カリキュラム協調開発
—COOLLの開発とその利用—**

津田塾大学 英文学科教授 田近 裕子
情報科学科教授 来住 伸子


文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程」における英語カリキュラム協調開発

発表内容

1. e-learningシステムCOOLLの開発方針
2. COOLLの機能と基本的な利用方法
3. 授業での活用例
4. 研究背景
5. 今後の展望と課題

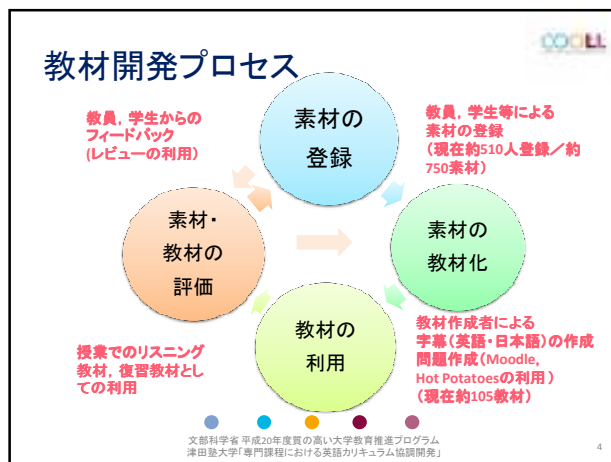
文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程」における英語カリキュラム協調開発

1. e-learningシステムCOOLLの開発方針



Collaborative Open Language Learning
“collaboration” と “open” を
キーワードにした英語学習システム

文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程」における英語カリキュラム協調開発




2. COOLLの機能と基本的な利用方法



文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程」における英語カリキュラム協調開発

利用の仕方 (1)


- ・素材の閲覧 全ユーザ
- ・素材の登録 登録したユーザ



文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程」における英語カリキュラム協調開発

利用の仕方 (2)


- 教材(字幕付きビデオ)の利用
学内ユーザ
登録したユーザ
(公開が学内限定の教材もあり。)
- 練習問題の利用
学内ユーザ



文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程における英語カリキュラム協同開発」

利用の仕方 (3)

- ビデオへの字幕付け
編集(教材作成)者
- 練習問題の作成
編集(教材作成)者




文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程における英語カリキュラム協同開発」

3. 授業での活用例

3.1 Reading & Writing II

● Student-centeredの授業が展開

- 1) 数学に関する学生の興味のある話題を調査
- 2) 投票で上位6つの話題についてWebでコンテンツを収集
- 3) COOLLへ登録




文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程における英語カリキュラム協同開発」

4) Peer Review (ペアワーク活動)

↓
COOLL上で
パートナーが登録した
素材について

- 英語の難易度
- 興味度
- 専門性 を評価



文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程における英語カリキュラム協同開発」

5) 学生による授業用共通読解素材の選択 →数学者やインドの数学など

<学生から挙げた話題>

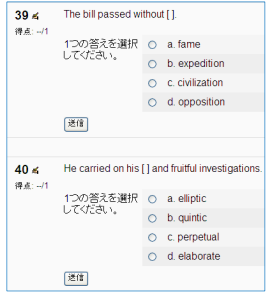
Leonhard Euler, Pythagoras, Georg Friedrich Bernhard Riemann, Évariste Galois, Jean Baptiste Joseph Fourier, Indian Mathematics, Richard Taylor, Johann Carl Friedrich Gauss, Pierre de Fermat, Albert Einstein, 円筒角の定理を見つけた人, 洋画ドラマ"Numbers", Srinivasa Aiyangar Ramanujan, John Napier, Cayley-Hamilton, Newton, Archimedes, Niels Henrik Abel
岡 潔, 小平邦彦, 高木貞治



文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程における英語カリキュラム協同開発」

6) 素材で登場した語彙を使って語彙レベル毎にMoodle上に問題を作成

↓
各自、自学習



文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程における英語カリキュラム協同開発」

COOLL

7) エッセイ・ライティング活動
読解素材や演習した語彙を参考に、学生の関心が高い日本人の数学者についてその生涯や業績について英語で紹介。
(岡 潔, 小平邦彦, 高木貞治)


● ● ● ● ●
文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程」における英語カリキュラム協働開発

13

COOLL

3.2 情報科学英語 IIIA

- 情報科学英語：情報科学分野の話題を英語で学ぶ
- IIIAの話題：情報の視覚化




● ● ● ● ●
文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程」における英語カリキュラム協働開発

14

COOLL

・COOLL上のビデオで情報を視覚化するソフトを紹介

→ 学生はそのソフトを利用して、情報を視覚化し、最後に英語で発表する。



● ● ● ● ●
文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程」における英語カリキュラム協働開発

15

COOLL

3.3 授業のまとめ

- Content-basedの授業の充実
- Student-centeredの授業の展開
- 学生の学習意欲の増大／自信の獲得
→ 英語が苦手な学生も、専門内容を扱うことで自信がつく。
- 専門的、特殊な話題の教材が、教員の間や学生と教員の間で共有しやすくなった。

● ● ● ● ●
文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程」における英語カリキュラム協働開発

16

COOLL


4. 研究背景

4.1 英語教育の潮流「内容重視の英語教育」

テクノロジーの発達

英語：コミュニケーションの補助言語
使用機会の即時性

オンラインビデオなどの普及
→ authenticな英語素材の入手が容易へ



大学の英語教育 → authenticな英語素材の利用の拡大へ

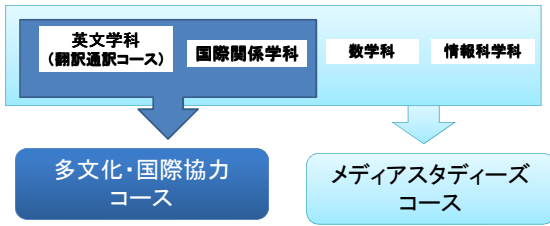
● ● ● ● ●
文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程」における英語カリキュラム協働開発

17

COOLL

4.2 津田塾大学の取組

専門課程(3・4年時)



● ● ● ● ●
文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程」における英語カリキュラム協働開発

18

4.3 内容重視の英語教育の実現



文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程における英語カリキュラム協調開発」

19

5. 今後の展望

- COOLLの利用の拡大
学内: 英語教育・専門教育への積極的活用
学外: 誰でも自由に参加できる教材協調開発の実現

It's COOLL!

- COOLLの機能強化
 - 素材・教材の自動推薦
 - 学習履歴の収集とデータに基づく教材評価

文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程における英語カリキュラム協調開発」

20

ご清聴ありがとうございました。

COOLL
<http://cooll.tsuda.ac.jp/>
Email: cooll@tsuda.ac.jp

文部科学省 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム
津田塾大学「専門課程における英語カリキュラム協調開発」

21